

## 令和7年度 第1学年授業改善推進プラン

|      | 伸ばしたい力                                                         | 授 業 改 善 プ ラ ン                                                                                                                                                                                     | 評 価 の 計 画                                               |
|------|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 国語   | ・経験したことなどから書くことを見付け、伝えたいことを明確にする。また、自分の思いや考えが明確になるように構成を考えて書く。 | ・身近なことや経験したことなどを書く活動や、日記や手紙などを書く活動を通して、児童に「何を一番伝えたいのか」を事前<br>に考えさせたり、メモを取らせたりする。<br>・思ったことや考えたことを書かせる際には、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えさせてから書かせるようにする。<br>・文章を書いた後に読み直しをする習慣を付けさせ、調音、抑音、促音、撥音の表記や助詞の使い方の定着を図る。 | ・伝えたいことを明確にしたり、事柄の順序を意識したりして、文章が書けているかを評価する。            |
|      | ・場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉え、自分の考えや感想を伝え合う。                       | ・物語文では、役割を決めて音読したり、演じたりさせる。説明文は、題名や見出し、図、写真、挿絵などを手掛かりにして文章の内容の大体を捉えさせる。<br>・友達と交流する活動(ペア・グループ)を行い、一人一人が自分の考えを友達に伝える機会を設定する。<br>・話し方・聞き方のスキルをスモールステップで指導し、習熟させる。                                   | ・自分の考えを発表する様子や友達と感想を交流している様子、ワークシートやノート、作文などの記述から評価する。  |
|      | ・平仮名及び片仮名、第1学年に配当されている漢字を正しく読んだり、書いたりする。                       | ・平仮名は正しい口形、発音、発声を意識させる。片仮名は片仮名で書く語の種類を知り、文章の中で使うようにさせる。漢字は、字形と具体的な事物(実物や絵)と結び付けることで、漢字が表意文字であることを意識しながら、興味関心を高められるようにする。<br>・学習者用端末の「ドリルプラネット」を活用して、反復練習に取り組み、定着を図る。                              | ・音読や書き取りのワークシート、ノート、作文の記述などから、正しく読んだり書いたりできているかを評価する。   |
| 算数   | ・簡単な加法及び減法の計算が確実にできる。                                          | ・ブロックなどの半具体物を操作させることで、加法や減法の意味や計算の仕方について理解させる。<br>また、計算カードを用いた活動に繰り返し取り組ませ、習熟を図る。また、学習者用端末を活用して反復学習に取り組み、基礎的な力の定着を図る。                                                                             | ・活動の様子やノートなどから計算の正確さを評価する。                              |
|      | ・身の回りから数量や形を見出し、問題を捉え、その解決方法を考える。                              | ・具体物を使用したり、絵を用いて表したりして、具体的な場面と対応させながら考えさせ、理解を深める。児童相互で考えを説明し合う機会を設けたり、全体での発表の場を設けたりして、考えを発表することに慣れようよう指導していく。                                                                                     | ・活動の様子や、具体物・半具体物の操作、説明・ノートなどで評価する。                      |
| 生活   | ・すすんで身近な人や自然、社会に関わろうとする。                                       | ・活動や体験の機会を計画的に設定し、楽しみながら身近な人や自然、社会と関わりをもてるようにする。<br>・他学年や幼稚園・保育園との交流を設定し、他者と関わることで自分の成長を感じられるようにする。                                                                                               | ・活動の様子やワークシート、発見カードの記述から評価する。                           |
|      | ・活動の楽しさを味わい、それらを通して気付いたことを表現する。                                | ・気付いたことを言語化する機会を設定し、それらを観察カードなどに表現する方法を繰り返し指導する。<br>・体験したことから、身近な人や自然、社会の特徴やよさ、自分との関わり等に着目させるとともに、それらを言葉や絵、動作、劇化など多様な方法で表現させる。                                                                    | ・活動の様子を観察し、つぶやきや発言、ワークシート、発見カードなどの記述、発表の様子などを積み重ねて評価する。 |
| 音楽   | ・歌や身体表現、演奏を楽しんで行う。                                             | ・リズムに合わせて体を動かしたり、身の回りの言葉をリズムに乗って伝える活動を通して、音楽の楽しさを味わえるようにする。<br>・いろいろな曲に出合わせ、声を合わせて歌ったり、様々な楽器を使っている合奏を行わせたりすることで、音楽を表現することへの意欲を高める。                                                                | ・一人一人の歌声やリズム遊び、様々な楽器の演奏の様子を評価する。                        |
|      | ・音楽表現を楽しむために必要な音を合わせて演奏する。                                     | ・鍵盤ハーモニカの学習を通して、タンギングや基本的な指遣いなどの学習を進めていく。                                                                                                                                                         | ・一人一人の演奏の様子を見たり聞いたりして、評価する。                             |
| 図工   | ・感じたことや考えたことを絵や造形に表す。                                          | ・クレパスやはさみの使い方に慣れ、楽しく活動できるように、自分の思いに合わせて児童自らが選択できるように教材準備をする。                                                                                                                                      | ・活動の様子を観察するとともに、作品から評価する。                               |
|      | ・作品の美しさやよさを味わう。                                                | ・作品のイメージを授業の導入で共有したり、友達の作品を鑑賞したりすることにより、お互いの作品のよさを話し合いながら鑑賞させる。                                                                                                                                   | ・鑑賞しながらの発言、メッセージカードを見取り、評価する。                           |
| 体育   | ・多様な運動に意欲的に取り組み、体力を向上させる。                                      | ・器械・器具・用具を使っている運動やゲームを組み合わせ、楽しく遊びながら身体を鍛え、体力を向上させる。<br>・多様な動きを経験する中で、体を動かすことの楽しさを味わわせることで、運動への意欲を高めるようにする。                                                                                        | ・器械・器具・用具の使い方や、ゲームへの参加の仕方を観察し、一人一人の運動量を評価する。            |
|      | ・ルールを理解し、協力して運動する。                                             | ・運動の方法やルールを理解させるとともに、力を合わせて運動する喜びや一緒に活動する楽しさを味わわせる。                                                                                                                                               | ・活動の様子を観察し、評価する。                                        |
| 道徳   | ・善悪の判断をし、生活の中で行動に移そうとする。                                       | ・こどもがイメージしやすい資料を準備し、実生活と結び付けた学習の流れを工夫する。<br>・毎回、授業の最後に自分自身の行動の振り返りを行わせることで、これから生活の中で活かしていこうとする気持ちを育てる。                                                                                            | ・動作化・発言・ワークシート・その後の行動の変化などで評価する。                        |
|      | ・相手の気持ちを考えて行動しようとする。                                           | ・自分や相手の気持ちや立場を具体的に示し、考えさせたり、話し合わせたりする。<br>・ペアやグループでの話し合い活動を取り入れ、いろいろな考え方や感じ方があることに気付かせる。                                                                                                          | ・動作化・発言・ワークシート・その後の行動の変化などで評価する。                        |
| 特別活動 | ・当番活動や、話し合い活動にすすんで取り組む。                                        | ・仕事の内容や、やり方を十分に理解させ、誰かのために役に立つ喜びを味わわせ、認め励ましながら活動させる。<br>・学級会での話し合いを自分事として捉えられるように身近な議題を設定する。                                                                                                      | ・活動の様子や、振り返りなどから評価する。                                   |
|      | ・交流会や全校での集会、行事などに楽しく参加する。                                      | ・事前指導で活動の意義や目的を伝え、楽しんで参加させる。振り返りで、楽しさを共有させ、高学年にに対する憧れの気持ちをもたせる。                                                                                                                                   | ・活動の様子を観察し、作文やお礼の手紙などから評価する。                            |

## 令和7年度 第2学年授業改善プラン

|      | 伸ばしたい力                                                                              | 授 業 改 善 プ ラ ン                                                                                                                                                                                              | 評 価 の 計 画                              |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 国語   | ・話したいことを順序に気を付けて最後まで話す。<br>・大事なことを落とさないように聞く。                                       | ・身近なことや経験したことなどを書く活動や、日記や手紙などを書く活動を通して、児童に「何を一番伝えたいのか」を事前に考えさせたり、メモを取らせたりする。<br>・思ったことや考えたことを書く際には、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えさせてから書かせるようにする。<br><small>文章を書いた後に読み直しをさせる習慣を付けさせ、修正、改善、反省、改善の事柄や助詞の使い方の定着を図る。</small> | ・「聞く・話す」活動での行動観察、発表、ワークテスト、日常の活動で評価する。 |
|      | ・感じたことや想像したことについて書くときの語彙を身に付ける。<br>・文章を読んで、文章の内容と自分の経験とを結び付けて読み、感想をもつことができる力を身に付ける。 | ・音読、詩の暗唱、読み聞かせ、読書、言葉遊びなどを通して語彙を増やし、書く活動に活用できるように指導をしていく。<br>・児童の発達や学習の状況に応じて、児童が文章との関連を考えながら、実際の経験を十分想起できるようにし、児童一人一人が感想をもてるような指導をしていく。                                                                    | ・ノート、作文、ワークシート、聞き合ったり、読み合ったりする場で評価する。  |
|      | ・既習漢字、新出漢字を読んだり書いたりする力を身に付ける。                                                       | ・漢字ドリルノートや学習者用端末を用いた学習を活用する。漢字のミニテストを通し、目標を設定することで意欲的に学べることができるよう支援していく。また、普段の文章に活用していけるよう日記等の活動を通して、定着を図る。                                                                                                | ・ミニテストやワークテスト、ノートで活用できているかを評価する。       |
| 算数   | ・繰り上がりや繰り下がりのある簡単な計算や、筆算の計算の仕方を十分に身に付ける。                                            | ・具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにするとともに加法や減法の意味を改めて考え、操作手順と併せて理解できるようにする。計算プリントや学習者用端末を用いた学習等、基礎的な練習問題に継続して取り組み、確実に定着できるようにする。                                                                                 | ・授業、ワークテストで評価する。                       |
|      | ・長さ、水のかさ、時刻と時間についての理解が必要である。単位の換算、加減計算を身に付ける。                                       | ・日常生活の中で使われている単位に着目させたり、具体物を使ったりする算数の活動を通して理解を確実にし、量感を養う。                                                                                                                                                  | ・ワークテスト、ノートで評価する。                      |
|      | ・自分なりに考えて問題を解いたり、どのように考えたかを説明したりする力を身に付ける。                                          | ・問題解決型の授業を通して、自分なりに考え、友達のを聞くことの楽しさを実感させる。具体物を操作しながら、自分の考えを簡単な表現で発表し合う活動を取り入れていく。                                                                                                                           | ・ワークテスト、計算プリントで評価する。                   |
| 生活   | ・地域の人や場所との交流活動を楽しみにしているが、伝えたいことを身近な人に伝え合う活動の経験が必要である。                               | ・地域の方を学校に招いたり、学区域に出かけたりする機会をつくり、挨拶や会話、お礼の手紙を書くなどの活動を通して交流し、地域のよさに気付かせる。交流活動を通して、相手に応じた伝え方があることに気付くことができるようにする。                                                                                             | ・活動中の行動観察、会話、発見カードの気付き等で評価する。          |
|      | ・動植物や自然に関心をもち、親しみをもって関わろうとする。活動には意欲的に取り組むが、気付きの質を高めるようにする。                          | ・気付いたことをカードに書いたり、話し合って交流したりする機会を意図的に設定する。また、国語の学習と関連させて、観察カードの書き方を指導し、観点に着目して観察できるようにする。                                                                                                                   | ・世話をする様子を観察、発見カード等への記入を評価する。           |
|      | ・自分の成長や関わった人に関心をもち、自分のよさに気付き、支えてくれた人への感謝の気持ちをもちようにする。                               | ・ICTを活用した学習形態の工夫や友達との情報交換を行い、自分との関わりに関心をもち、自分のよさに気付かせることで感謝の気持ちをもちようにする。                                                                                                                                   | ・振り返りのワークシート、発表の様子で評価する。               |
| 音楽   | ・音楽に合わせて体を動かしたり、リズムをとったりすることが苦手な児童がいるので、音楽の楽しさに気付けるようにする。                           | ・授業でリズム打ちを多く取り入れ、様々なリズムに親しませる。学習者用端末の音楽素材を活用し、音楽への興味関心を引き出しながら、音やリズムの楽しさに気付けるようにする。                                                                                                                        | ・歌唱や演奏の様子で評価する。                        |
|      | ・音楽表現を楽しむための技能を身に付ける。鍵盤ハーモニカの演奏では、タンギングと指使いの習得が必要である。                               | ・拡大鍵盤図を活用しながら指使いを確認したり、声を合わせて歌ったりすることを指導する。鍵盤ハーモニカを演奏するときは、階名と指番号を一致させて、スムーズに弾けるよう個別指導をする。                                                                                                                 | ・学び合いの様子、一人やグループで演奏させ評価する。             |
| 図工   | ・身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れ、造形活動を楽しみながら活動している。                                             | ・材料や道具の特性に合った教材を用意し、いろいろな感覚を味わわせたりいろいろな使い方を経験させたりする。教科書の題材を中心に、題材や指導法等を工夫し、引き続き児童の意欲を高めていく。                                                                                                                | ・活動の様子を観察するとともに、作品から評価する。              |
|      | ・素材の感触を楽しんだり、用具の使い方を確認したりしながら児童が様々な表現方法を選択できるように取り組んでいる。                            | ・初めての用具や素材に触れる際には安全面を重視し細やかな指導を行う。配慮を要する児童については事前に情報を共有し、特に安全に配慮する。                                                                                                                                        | ・発表内容や鑑賞カードから評価する。                     |
| 体育   | ・いろいろな動きを身に付け、運動に意欲的に取り組む。                                                          | ・場の設定や教具、ルールなどを児童の実態に応じて工夫する。<br>・多様な運動を経験できるように、様々な遊びや活動に取り組ませる。                                                                                                                                          | ・運動の様子、振り返りシートで評価する。                   |
|      | ・友達と協力しながら、体を動かすことの楽しさを味わう。                                                         | ・自然と協力し合うようなルールや場を設定するようにする。                                                                                                                                                                               | ・活動の様子で評価する。                           |
| 道徳   | ・教材を読み物として理解し、意見を述べることは得意であるが、自分自身を振り返ることができる力が必要である。                               | ・児童がイメージしやすい資料や実体験を通して、より具体的に考え、自分で振り返る機会をつくる。導入や発問構成、展開の仕方等を工夫することで、教材をきっかりにして、自己の生き方について考える授業を実践する。見方や考え方を広げたり深めたりするために、友達との対話の時間を十分に充実させる。                                                              | ・発言、ワークシートの内容で評価する。                    |
|      | ・相手の立場に立って物事を考えることができるように、授業展開を工夫していく。                                              | ・日々の生活場面と絡めながら、具体的な場面の中から具体的に考え、これからの自分の行動を考える機会を作る。児童の実態に合わせた指導方法を工夫する(役扮演・動作化・表現活動等)や話し合い活動を取り入れることで、様々な立場に立って考えたり、友達の多様な考え方に触れたりする機会を意図的に設定する。                                                          | ・発言、ワークシートの内容で評価する。                    |
| 特別活動 | ・自分からすすんで係や当番活動をする。                                                                 | ・係や当番活動では必要に応じて話し合わせ、自分たちで考えながら行動させるようにする。<br>・振り返りをすることで、自分の学級内の役割に気付かせ、認めまし、意欲を高めさせる。                                                                                                                    | ・活動の様子から評価する。                          |
|      | ・話し合い活動で自分の意見を伝える。                                                                  | ・どの子も自分の意見を根拠とともに伝えられるように、ワークシートに事前に記入する時間を設定する。司会グループには、事前に台本などを用意して、司会進行の仕方や発言の仕方などを理解させる。                                                                                                               | ・話し合いの様子で評価する。                         |
|      | ・集会や異学年との交流に喜んで参加する。                                                                | ・事前にねらいと具体的な行動の仕方を示し、参加できるようにする。                                                                                                                                                                           | ・会の参加の様子や感想で評価する。                      |

令和7年度 第3学年授業改善プラン

|       | 伸ばしたい力                                                                 | 授業改善プラン                                                                                                                                                                                       | 評価の計画                                                                                               |
|-------|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語    | ・話の中心に気を付けて聞く。<br>・話の中心をはっきりさせ、自分の考えを書き表したり、話したりすることを通して、相手に分かりやすく伝える。 | ・身近なことや経験したことなどを書く活動や、日記や手紙などを書く活動を通して、児童に「何を一番伝えたいのか」を事前に考えさせたり、メモを取らせたりする。<br>・思ったことや考えたことを書かせる際には、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えさせてから書かせるようにする。<br>・文章を書いた後に読み直しをする習慣を付けさせ、調音、拗音、促音、撥音の表記や助詞の使い方の定着を図る。 | ・スピーチやワークテストでの話し方や聞き取り。<br>・授業中の発言<br>・ノート、ワークシート                                                   |
|       | ・新出漢字や語句の定着を図る。                                                        | ・計画的に漢字のミニテストを実施し、練習を繰り返し行い定着を図る。<br>・学習者用端末等を活用し、漢字の書き順や部首等を繰り返し学習できるようにする。<br>・新しい言葉に出会った際に、国語辞典を活用して意味調べを行い、語彙を豊かにする。                                                                      | ・漢字ドリル等で繰り返し練習し、短文の中でも漢字が使えているか、ノートやミニテストで評価する。                                                     |
| 社会    | ・地図や資料から必要な情報を読み取ったり、経験と結び付けて考えたりする。                                   | ・地図記号や資料の読み取り方をその都度、確認する。<br>・地図や資料から気付くことを全体で共有し、読み取り方の視点を意識させる。                                                                                                                             | ・見学シート<br>・ノート                                                                                      |
|       | ・観察・調査したことや考えたことを表現する。                                                 | ・調べたことをポスターやパンフレットなどにまとめる活動を通して、分かりやすくまとめる方法を教える。<br>・学習課題を明確にし、実際に見たり調べたりしたものから考えを見出し、まとめられるようにする。                                                                                           | ・学習シート<br>・ノート・発言など 振り返りカード ミニ新聞、絵カードなどの作品                                                          |
| 算数    | ・基礎基本の定着を図る。                                                           | ・レディンテストで既習事項の習熟度を確認し、グループを設定する。習熟度に合わせて、教材教具を準備し、指導を行う。<br>・学習用端末を活用し、繰り返し問題を解くことで、技能の定着を図る。                                                                                                 | ・授業の様子、ノート、ワークテストで評価する。こどもの実態に応じた指導をしながら、評価する。                                                      |
|       | ・文章の内容を理解し、見通しをもって演算決定をする。                                             | ・文章題から立式する際に、図や数直線等を書かせて視覚的に問題を捉えさせる。また、立式の根拠を伝え合う活動を繰り返し取り入れていく。                                                                                                                             | ・図や式の根拠の記述をノート等で評価する。<br>・学び合いを通してどのように考えたかを発言やノート、振り返り等で評価する。                                      |
| 理科    | ・身近な自然や動植物に興味をもち、自然を大切にしようとする。                                         | ・児童が主体的に動植物を育てることのできる環境(育てる、調べる)を整え、興味関心を高められたり、さらに調べてみたいという意欲を高められるようにする。                                                                                                                    | ・身近な自然に関心をもち、すすんで関わりをもとうとしたか、発言や活動などを記録し評価する。                                                       |
|       | ・実験方法を考えたり、実験結果を予想・考察したりする際に、知識や経験を基に、自分の考えを表現する。                      | ・考えを書く時間や考えを共有する時間を十分に確保する。毎回、他の友達と考えを共有する時間を設定し、考え方の幅を広げるとともに、理解の定着を図る。                                                                                                                      | ・実験、観察カードやノートに、大事な事を落とさず書いているか、自分なりの考えがもてたかどうかを評価する。                                                |
| 音楽    | ・表現活動や鑑賞活動を行うことの楽しさ、楽曲のよさや面白さを感じ取りながら、主体的に取り組もうとする力。                   | ・楽曲全体の構造を捉えることや、音楽の諸要素と曲想との関わりを知ること、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取れるようにする。                                                                                                                             | ・授業中の発言や態度、ワークシートなどで評価する。                                                                           |
|       | ・表現活動に必要な技能を身に付けて、思いや意図をもって演奏したり創ったりする力。                               | ・基礎的基本的な内容を繰り返し活動の中に取り入れていくことで、必要な技能を身に付けていけるようにする。<br>・様々な音楽に触れさせることや、音楽の諸要素と曲想との関わりを知ること、どのように表現したいかの思いや意図がもてるようにする。                                                                        | ・実技テストや授業中の取り組みの様子から、表現に必要な技能が身に付いているか評価する。<br>・発言やワークシートの内容と創作物品や演奏の様子によって、思いや意図をもった表現となっているか評価する。 |
| 図工    | ・すすんで表現したり鑑賞したりする活動を楽しもうとする。                                           | ・道具の使い方や製作方法等を視覚的に提示したり、児童の作品鑑賞をしたりする。                                                                                                                                                        | ・完成作品だけでなく途中の活動や作品の様子、机間指導や補助簿等による児童観察をする。                                                          |
|       | ・手を十分に動かせたり、体全体の感覚を生かしたりして造形表現活動をする。                                   | ・児童の実態に合った題材を設定し、活動しやすい場面設定をする。                                                                                                                                                               | ・児童観察、作品、振り返りシートなどから評価する。                                                                           |
| 体育    | ・ルールを守って、協力してゲームに取り組む。                                                 | ・協働的な学習を取り入れ、学習カードなどを活用し、友達と互いの良い点・改善点などを話し合いながら学習できるようにする。                                                                                                                                   | ・児童観察、学習カード                                                                                         |
|       | ・動作のコツや練習の仕方を知り、技能を身に付ける。                                              | ・教具を工夫し、スモールステップを踏んで、楽しみながら技能が身に付くようにする。<br>・学習カードを活用し、動作のコツや練習の仕方、感想を記録できるようにし、児童が主体的に学べるようにする。                                                                                              | ・学習カードへの記入から、児童の意欲や気付きなどを客観的に評価する。<br>・児童の活動への取り組み方や他児童とのかかわりなどから評価を行う。                             |
| 道徳    | ・自分の思いや考えを伝える。                                                         | ・授業展開や発問を工夫したり、ペアや小グループで話し合う機会を作ったりして、児童が安心して発言できる場を作る。                                                                                                                                       | ・学習カードへの記入から、道徳的価値に対する、児童の意欲や気付きなどを評価する。                                                            |
|       | ・自分の生活を振り返り、これからの生活について考える。                                            | ・児童が自身のことを振り返りやすいように、発問を工夫する。                                                                                                                                                                 | ・日常生活における児童の行動観察を行う。                                                                                |
| 外国語活動 | ・外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。                                                  | ・外国語の音声をたくさん聞いて楽しむとともに、外国語を通して言語や文化について体験的に理解を深められるようにする。                                                                                                                                     | ・活動の様子                                                                                              |
|       | ・外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。                                | ・身近な話題をテーマにして、たくさんやりとりをする場面を設定する。<br>・カードや画像、アルファベットなども活用し、視覚的に触れる機会をつくる。                                                                                                                     | ・活動の様子                                                                                              |
|       | ・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。                                     | ・児童が興味をもって取り組むことができる言語活動を段階的に取り入れたり、自己表現活動の工夫をしたりする。聴覚的に厳しい児童へは、視覚的な補助も活用する。                                                                                                                  | ・活動の様子、振り返りカード                                                                                      |
| 総合    | ・身近な事柄から問題を発見し追究し表現できる力を育む。                                            | ・児童が問題を発見できるよう、個に応じて問題解決の視点などを助言する。<br>・学習の見通しをもって計画的に問題解決ができるような指導・助言をする。                                                                                                                    | ・ワークシートや発言などを通して評価に生かす。                                                                             |
| 特別活動  | ・係や当番活動を工夫しながら協力して行う。                                                  | ・児童一人一人に当番や係活動などで学級における役割をもたせる。自分で考え、工夫する場を意図的に作る。                                                                                                                                            | ・活動の様子、学級会ノート、作品、発表の方法、内容などの観察をする。                                                                  |
|       | ・お互いのよさを認め、学級の一員として、よりよく過ごす。                                           | ・学校生活での問題や課題を見付け、皆と力を合わせ解決するための取り組みを企画し、実行する。                                                                                                                                                 | ・活動の様子、活動の振り返りなどの観察をする。                                                                             |

## 令和7年度 第4学年授業改善プラン

|       | 伸ばしたい力                                                                                  | 授業改善プラン                                                                                                                                                                                 | 評価の計画                                                                                               |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語    | ・自分の考えを書いたり、話したりすることを通して、互いの考えの相違点や共通点を考えながら相手に分かりやすく伝える。                               | ・身近なことや経験したことなどを書く活動や、日記や手紙などを書く活動を通して、児童に「何を一番伝えたいのか」を事前に考えさせたり、メモを取らせたりする。<br>・思ったことや考えたことを書かせる際には、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えさせてから書かせるようにする。<br>・文章を書いた後に読み直しをする習慣を付けさせ、読章、検査、促査、検査の表記や助詞の使い方の | ・自分の考えを書いたり言ったりしたことの内容や表現の仕方、友達のを考えを基にした自分の考えの深化を評価する(授業中の発言・ノート、ワークシート)。                           |
|       | ・既習漢字を使いながら、段落のつながりを意識し、指定された長さで具体的な文章を書く。相手意識をもって書く。                                   | ・段落同士のつながりを考えたり、段落同士をつなぐ接続語を考えたりする学習課題を設定する。<br>・読書の活用・慣用句・ことわざに親しむ・要約するなど、日常生活における言語活動を充実させ、語彙を増やす活動に取り組む。<br>・教材文について正確に理解した上で、書いてあることを根拠にして答えを導くような発問を工夫する。                          | ・感想や意見・考えなどを書く時間、交流する時間を設定し、段落相互の関係やつながりを意識した文章を書けたかどうか評価する(ノート、ワークテスト)。                            |
| 社会    | ・社会的な事象に関心をもち、問題解決のためにすすんで調べようとする。                                                      | ・社会的な事象に関する児童の関心を高め、実際に見学したり、具体的に観察・調査したりする機会を計画的・意図的に設ける。                                                                                                                              | ・具体的な観察・調査場面において、 <b>子ども自身がどのようなことに関心をもちて記録し、質問しているか</b> をみて評価する。                                   |
|       | ・調べたことを基に自分の考えを表現する。                                                                    | ・調べ、考えたことを表現するための手法を身に付け、それを活用しながら自分の考えを適切に表現する力を付けるようにする。                                                                                                                              | ・ノートや作品、発表や話し合いの場面などの様子を観察したり分析したりして、評価する。                                                          |
| 算数    | ・既習事項を使って自分の考えをもち、表現できるようにする。                                                           | ・言葉や数、式、図、表、グラフ、数直線を用いて、自分の考えを発表したり、友達の意見を聞いたりする場면을授業の中に設定する。                                                                                                                           | ・ワークシートやノートの記述、解法の説明の仕方(筋道立てて考えを述べているか)振り返り等を重視し、評価する。                                              |
|       | ・四則計算と算数の用語の理解と定着を図る。                                                                   | ・デジタルドリル等を活用し、計算や知識理解の反復練習に取り組み、習熟を図る。<br>・特につまづきのある児童への個別の支援を行う。                                                                                                                       | ・ノート、ドリル、ワークテストなどで評価する。                                                                             |
| 理科    | ・科学的な見方や考え方ができる。                                                                        | ・自然の事物・現象の変化に着目させる。                                                                                                                                                                     | ・授業での発言や観察カード・ノートなどから読み取る。                                                                          |
|       | ・安全に気を付け、正しい手順で実験する。                                                                    | ・実験の意味や方法を十分に考えさせ、実験に取り組めるよう指導する。<br>・実験の結果を踏まえて分かったことを書く時間を確保する。                                                                                                                       | ・授業中の児童の様子をみる。実験ごとに、カードやノートを回収し、自分の考えがもてたかを評価する。                                                    |
| 音楽    | ・表現活動や鑑賞活動を行うことの楽しさ、楽曲のよさや面白さを感じ取りながら、主体的に取り組もうとする力。                                    | ・楽曲全体の構造を捉えることや、音楽の諸要素と曲想との関わりを知ること、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取れるようにする。                                                                                                                       | ・授業中の発言や態度、ワークシートなどで評価する。                                                                           |
|       | ・表現活動に必要な技能を身に付けて、思いや意図をもって演奏したり創ったりする力。                                                | ・基礎的な内容的内容を繰り返し活動の中に取り入れていくことで、必要な技能を身に付けていけるようにする。<br>・様々な音楽に触れさせることや、音楽の諸要素と曲想との関わりを知ること、どのように表現したいかの思いや意図がもてるようにする。                                                                  | ・実技テストや授業中の取り組みの様子から、表現に必要な技能が身に付いているか評価する。<br>・発言やワークシートの内容と創作作品や演奏の様子によって、思いや意図をもった表現となっているか評価する。 |
| 図工    | ・すすんで造形表現活動を楽しむ。                                                                        | ・児童のつくりたい気持ちに応える題材を準備し、児童の思いを認め広げる態度で授業を展開する。                                                                                                                                           | ・完成作品や制作途中の活動や作品の様子、机間指導や補助簿等を活用しての児童観察。                                                            |
|       | ・手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりして、造形表現活動をする。                                                   | ・題材の導入では用具の扱い方や作り方の基礎を確認し、実際に体験したり試したりできるようにする。                                                                                                                                         | ・児童観察、作品                                                                                            |
| 体育    | ・基本的な動きを身に付け、運動を楽しく行い、活発に運動を行っていくなかで、体力の向上を図る。                                          | ・運動の特性を児童に味わわせるとともに、自分に合った課題をもち、動き方や場、練習の仕方を工夫するとともに、互いの姿を見る視点を示したり、十分な運動量を確保したりする。                                                                                                     | ・授業中の行動や交流の様子・学習カードへの記入事項を評価する。                                                                     |
|       | ・ルールを守り、協力して取り組んだり、励まし合ったりすることができる。                                                     | ・態度の評価の具体的な観点を児童に伝え、称賛・声掛けを繰り返すことで協力・公正な態度を育てる。(用具の準備や片付け、きまりを守り、友達と励まし合って運動することを重点に置く)。                                                                                                | ・活動の様子やその後の振り返りの記述等から意欲や、その変容を評価する。                                                                 |
| 道徳    | ・道徳的価値に気付き、自分自身を振り返ったり、相手の立場に立って考えたりする。                                                 | ・共感したり、互いの考えを認め合ったり、自己の生き方を振り返ったりすることができる。<br>・資料や教材を提示する。                                                                                                                              | ・ワークシートや発言の様子から、評価する。                                                                               |
|       | ・道徳的な実践意欲を高める。                                                                          | ・体験を生かす工夫、他の教育活動との関連を図る工夫をする。                                                                                                                                                           | ・発言、ワークシート日常の様子を通して評価に生かす。                                                                          |
| 外国語活動 | ・外国の音声や基本的な表現に慣れ親しむ。                                                                    | ・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深められる授業を展開する。                                                                                                                                                  | ・活動の様子                                                                                              |
|       | ・外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。<br>・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。           | ・児童がよく知っている人や物、事柄のうち簡単な語彙や基本的な表現で表す練習をする。<br>・児童が興味をもって取り組むことができる言語活動を易しいものから段階的に取り入れたり、自己表現活動の工夫をしたりする。                                                                                | ・活動の様子<br>・活動の様子、振り返りカード                                                                            |
| 総合    | ・自分が問題意識をもった課題を発見し、解決方法を考え、調べたり、活動したりする。                                                | ・体験等を通して自分が感じたことをまとめさせる。まとめたものを基にさらに自分が興味をもったことを見つけさせる。また調べた方法を考え、見通しをもって問題解決していくことを大切にしてい                                                                                              | ・こどもの活動の様子を観察する。こどもが作成したものや活動のまとめや自己評価、相互評価を基に評価する。                                                 |
|       | ・調べたことや体験したことなどを適切に表現する。                                                                | ・相手を意識させ、多様な方法を提示し、表現方法を工夫させる。<br>・活動を振り返り次の学習に生かす材料にする。                                                                                                                                | ・活動の様子を観察し、表現する内容や作成した作品等から見取る。                                                                     |
| 特別活動  | ・創意工夫をして係活動に自発的に取り組む。<br>・当番の活動に責任をもって協力して、最後までやりとげる。                                   | ・役割を自覚し、協力して工夫する場を設ける。                                                                                                                                                                  | ・自己評価や相互評価や観察等を通して評価する。                                                                             |
|       | ・互いのよさを認め、学級や学校の一員として、よりよく過ごす。<br>・学級活動で、話し合い活動に参加し、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりしながら合意形成をはかる。 | ・学校生活での問題や課題を見付け、皆と力を合わせ解決するための企画をし、実践する。<br>・活動を振り返り次に生かす。<br>・学校行事や集会活動、たてわり交流班活動、クラブ活動等を通して他学年との交流の中からよさを認め合い、協力して過ごす。                                                               | ・話し合い活動や実践の場での様子、自己評価などから評価する。                                                                      |

令和7年度 第5学年授業改善プラン

|      | 伸ばしたい力                                                 | 授 業 改 善 プ ラ ン                                                                                                                                                                                 | 評 価 の 計 画                                                                                          |
|------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語   | ・本文の内容や要旨を的確に捉え、焦点化して読み取る。                             | ・身近なことや経験したことなどを書く活動や、日記や手紙などを書く活動を通して、児童に「何を一言伝えたいのか」を事前に考えさせたり、メモを取らせたりする。<br>・思ったことや考えたことを書かせる際には、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えさせてから書かせるようにする。<br>・文章を書いた後に読み直しをする習慣を付けさせ、修正、改善、再考、改善の筆記や助詞の使い方の定着を図る。 | ・発言やノート、学習シートや作品から評価する。                                                                            |
|      | ・目的や意図に応じて、考えたことを書く。                                   | ・構成メモやモデル文を取り入れるなど、段階的な指導をする。<br>・自分の考えを書く場面を設定し、書く時間を十分に取し、書き慣れるように指導を積み重ねる。<br>・新聞、日記、感想文、俳句などを定期的な方法で書く機会を設定する。                                                                            | ・文章表記から個々の変容を読み取り、評価する。<br>・モデル文をどのように生かしているかについて、実際の文章表現から読み取り、分析し、評価する。                          |
| 社会   | ・基礎的資料を効果的に活用しながら、調べたことを目的に応じて表現し、社会的事象の意味について考える。     | ・各単元において基礎的資料を正しく読み取る指導を丁寧に行う。<br>・地図や統計資料を活用して考えを述べたり、交流したりする活動を取り入れる。<br>・単元ごとなどに振り返り(分かったこと・考えたこと・疑問に思ったこと)をノートに記入させることで、思考を整理させ次時につなげる。                                                   | ・資料の読み取りや効果的な使い方ができているかについて、ワークシート、ワークテスト、発言内容やノートへの記述などから評価する。                                    |
| 算数   | ・問題の意味を正しく理解し、筋道を立てて考える。                               | ・問題文の要点をおさえ、具体物の操作や図、数直線などを活用して考える時間をとる。<br>・学び合いの場面を設定し、相手に伝えるように表記したり説明したりする機会を多く作る。                                                                                                        | ・学習態度、発言内容、ノートに書いた説明や図、式、振り返り、ワークテストなどで評価する。                                                       |
|      | ・小数や分数などの計算、算数的語句の定着を図る。                               | ・プリントやドリルなどを活用して基礎・基本の定着を図る。テストで全員の理解度を確認し、支援が必要な児童に個別に指導する。習熟度でのじっくりクラスでは、基礎・基本問題に繰り返し取り組む時間を確保する。                                                                                           | ・学習態度、ドリルやプリント類、ワークテストで評価する。                                                                       |
| 理科   | ・自ら課題を見付け、実験の目的や計画・予想をまとめたり、実験の結果から考察したりする。            | ・課題意識をもち、問題・仮説・計画・実験(観察)・結果予想・考察・結論という学習過程を習慣化させる。<br>・実験終了後に自分の考えを書く時間を十分にこつて、ノートにまとめさせる。                                                                                                    | ・実験ノート、観察ノートへの記述、活動の様子、発言などから評価する。                                                                 |
|      | ・目的に合った方法や装置で、観察や実験ができる。                               | ・実験の目的を丁寧におさえ、そのために必要な実験の方法や道具についてノートやプリントに記載する。<br>・安全面の注意事項と実験装置の正しい操作方法を視聴覚機器を使うなどして丁寧に説明する。                                                                                               | ・実験ノート、観察ノートへの記述、活動の様子、発言などから評価する。                                                                 |
| 音楽   | ・表現活動や鑑賞活動を行うことの楽しさ、楽曲のよさや面白さを味わいながら、主体的に取り組もうとする力。    | ・楽曲全体の構造を捉えたり、音楽の諸要素と曲想との関わりに気付かせたりすることで、それらの働きが生み出すよさや面白さを味わえるようにする。                                                                                                                         | ・授業中の発言や態度、ワークシートなどで評価する。                                                                          |
|      | ・表現活動に必要な技能を身に付けて、思いや意図をもって演奏したり創ったりする力。               | ・基礎的基本的な内容を繰り返し活動の中に取り入れていくことで、必要な技能を身に付けていけるようにする。<br>・様々な音楽に触れさせたり、音楽の諸要素と曲想との関わりに気付かせたりすることで、どのように表現したいかの思いや意図がもてるようにする。                                                                   | ・実技テストや授業中の取組みの様子から、表現に必要な技能が身に付いているか評価する。<br>・発言やワークシートの内容と創作作品や演奏の様子によって、思いや意図をもった表現となっているか評価する。 |
| 図工   | ・自分の思いをもって積極的に造形表現活動を楽しむ。                              | ・題材の提示の仕方工夫し児童の興味関心を高める。                                                                                                                                                                      | ・児童観察と学習カード、作品から評価する。                                                                              |
|      | ・創造的な技能を働かせたり造形感覚を生かしたりする。                             | ・個に応じた対応ができるよう素材や用具の準備を工夫するとともに実際に体験したり試したりできるようにする。                                                                                                                                          | ・児童観察と完成までの作品の変化を見取る。                                                                              |
| 家庭   | ・実習や製作において安全に気を付けながら主体的に取り組み、最後まで頑張る。                  | ・毎時間の授業のねらいを明確にするとともに、題材や見本を工夫し児童の意欲を喚起する。<br>・製作のやり方が分かるよう見せ方を工夫する。毎時間全員の成果物を確認し、評価や助言を与える。                                                                                                  | ・児童観察、学習カード、作品から評価する。                                                                              |
|      | ・自分の生活を見つめ、家庭科で学習したことを生かして実践しようとする。                    | ・家庭での実践を視野に入れた学習計画を立て、実践する前に自身の家庭生活を見つめる時間を設ける。<br>・家庭での実践課題や調べ学習を活用し、家庭での実践化をはかる。                                                                                                            | ・児童観察、学習カード、実践課題から評価する。                                                                            |
| 体育   | ・自分やチームの力に合った運動の課題をもち、友達と協力しながら運動することを通して、技能や体力の向上を図る。 | ・自分の目標やチームの目標を明確にして、友達と協力しながら、課題の解決方法を考えて取り組む。また、その結果から次の学習のめあてを設定できるようにする。体力向上に向けて継続的に取り組む活動を設定する。                                                                                           | ・活動の様子、発言、学習カードへの記述などから評価する。                                                                       |
|      | ・けがの防止や心の健康について理解し、生かそうとする。                            | ・けがの発生の要因を知ったり、成長期の心の変化について理解したりして、日常生活に生かすよう促す。                                                                                                                                              | ・テスト、ワークシートへの記述などから評価する。                                                                           |
| 道徳   | ・価値に迫るために多様な指導法を工夫する。                                  | ・児童への「ゆさぶり」を積極的に取り入れ、自分事として話し合いが行われる授業展開にしてい。                                                                                                                                                 | ・活動の様子、ワークシートなどから評価する。                                                                             |
|      | ・他者の考えを受け止めながら自分の考えを深め、自己の振り返りを十分に行うようにする。             | ・ペアやグループ、クラス全体での意見の共有を行い、話し合う活動を充実させる。                                                                                                                                                        | ・活動の様子、ワークシートなどから評価する。                                                                             |
| 総合   | ・自ら課題をもち、見通しをもって意欲的に追究する。                              | ・具体的な体験などを通して課題設定と情報収集、整理分析、まとめを丁寧に進める。                                                                                                                                                       | ・活動の様子、ワークシートなどから評価する。                                                                             |
|      | ・目的に応じて、現実社会とのかかわりを重視する。                               | ・課題解決のために必要な施設や相手を調べ、自らかかわりをもてるような態度をはぐくむ。                                                                                                                                                    | ・活動の様子、ワークシートなどから評価する。                                                                             |
| 外国語  | ・簡単な単語や基本的な表現の意味、文字の読み方が分かる。                           | ・自分のことや身の回りの物を題材として扱う。                                                                                                                                                                        | ・活動の様子、ワークシート                                                                                      |
|      | ・簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えたり、質問に答えたりする。                       | ・学校の友達や教師、ALTとのやり取りを、必然性のある場面設定で行う。<br>・実物やイラスト、写真などを見せながら話す機会を設ける。                                                                                                                           | ・活動の様子、発表                                                                                          |
| 特別活動 | ・自主的、実践的に活動する。(主として学級活動)                               | ・定期的に学級会、学年での意見交換を行い、自主的、実践的な力の育成を図る。<br>・話し合い活動を充実させ、人間関係を形成する力の育成を図る。                                                                                                                       | ・活動の様子、活動カードから評価する。                                                                                |
|      | ・社会に参画する。(主として学校行事・児童会活動・クラブ活動)                        | ・学校行事や児童会活動、クラブ活動において、各活動の目的を捉え、協働、責任、思いやりなどの意識を明確にして活動させる。                                                                                                                                   | ・活動の様子、活動カードから評価する。                                                                                |

令和7年度 第6学年授業改善プラン

|       | 伸ばしたい力                                                           | 授 業 改 善 プ ラ ン                                                                                                                                                                                 | 評 価 の 計 画                                                                                          |
|-------|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 国語    | ・事実と意見、感想を区別し、自分の考えが伝わるように表現する力。                                 | ・身近なことや経験したことなどを書く活動や、日記や手紙などを書く活動を通して、児童に「何を一番伝えたいのか」を事前に考えさせたり、メモを取らせたりする。<br>・思ったことや考えたことを書かせる際には、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えさせてから書かせるようにする。<br>・文章を書いた後に読み直しをする習慣を付けさせ、調音、動音、促音、撥音の表記や助詞の使い方の定着を図る。 | ・意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動で評価する。(ノートや発言、ワークシート、学習者用端末)                                        |
|       | ・文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめ、話し合う中で考えを広げたり深めたりする力。                | ・文章を読み、分かったことや考えたことを、ノートや学習者用端末を使って自分の言葉でまとめるよう授業展開を工夫する。<br>・話し合い活動を多く取り入れ、話し合うなかで考えを深めたり広げたりする場を意図的に設定する。                                                                                   | ・ノートや発言、ワークシート、学習者用端末などで評価する。                                                                      |
| 社会    | ・歴史や政治の学習課題を意欲的に調べ、調べたことを基に考え、発言できる。                             | ・学習課題を的確につかませ、調べるポイントや視点、方法を指導することで、見通しをもち学習できるよう工夫する。また、発言・発表できる機会を増やす。                                                                                                                      | ・ノートや発言、ワークシート、作品などから評価する。                                                                         |
|       | ・学習課題について、適切に資料を読み取ったり、活用したりしながら理解し、課題に対し自分の考えをもつことができる。         | ・資料を調べる時間を確保し、考えの根拠をもたせる学習展開を工夫する。新聞や発表など、方法を工夫しながら学習のまとめを行う。                                                                                                                                 | ・授業での学習態度、ワークテスト・ノートなどで評価する。                                                                       |
| 算数    | ・小数や分数などの計算、算数的語句の定着を図る。                                         | ・プリントやドリルなどを活用して基礎・基本の定着を図る。テストで全員の理解度を確認し、支援が必要な児童に個別に指導する。習熟度でのじゅくりクラスでは、基礎・基本問題に繰り返し取り組み時間を確保する。                                                                                           | ・学習態度、発言内容、ノートに書いた説明や図、式、振り返り、ワークテストなどで評価する。                                                       |
|       | ・課題に対してどのように問題解決していくのか見通しをもち、自分で考えを深めたり、友達と協働で考えたりすることができるようにする。 | ・既習事項を確認しながら学習内容に見通しをもって取り組み、問題解決型学習の学習展開を行う。個別に考える時間や少人数のペアやトリオなどの人数で話し合う活動の場を設定する。                                                                                                          | ・学習態度、ドリルやプリント類、ワークテストで評価する。                                                                       |
| 理科    | ・自ら課題を見付け、実験の目的や計画・予想をまとめたり、実験の結果から考察したりする。                      | ・課題意識をもち、問題・仮説・計画・実験(観察)・結果予想・考察・結論という学習過程を習慣化させる。<br>・根拠をはっきりとさせて仮説を書く時間や、実験終了後に自分の考えを書く時間を十分にとって、ノートにまとめさせる。                                                                                | ・実験ノート、観察ノートへの記述、活動の様子、発言などから評価する。                                                                 |
|       | ・目的に合った方法や装置で、観察や実験ができる。                                         | ・実験の目的を丁寧に伝え、そのために必要な実験の方法や道具について実験ノートに記載する。<br>・安全面の注意事項と実験装置の正しい操作方法を視聴覚機器を使うなどして丁寧に説明する。                                                                                                   | ・実験ノート、観察ノートへの記述、活動の様子、発言などから評価する。                                                                 |
| 音楽    | ・表現活動や鑑賞活動を行うことの楽しさ、楽曲のよさや面白さを味わいながら、主体的に取り組もうとする力。              | ・楽曲全体の構造を捉えたり、音楽の諸要素と曲想との関わりに気付かせたりすることで、それらの働きが生み出すよさや面白さを味わえるようにする。                                                                                                                         | ・授業中の発言や態度、ワークシートなどで評価する。                                                                          |
|       | ・表現活動に必要な技能を身に付けて、思いや意図をもって演奏したり創ったりする力。                         | ・基礎的基本的な内容を繰り返し活動の中に取り入れていくことで、必要な技能を身に付けていけるようにする。<br>・様々な音楽に触れさせたり、音楽の諸要素と曲想との関わりに気付かせたりすることで、どのように表現したいかの思いや意図がもてるようにする。                                                                   | ・実技テストや授業中の取り組みの様子から、表現に必要な技能が身に付いているか評価する。<br>・発言やワークシートの内容と創作物や演奏の様子によって、思いや意図をもった表現となっているか評価する。 |
| 図工    | ・自分の思いをもって積極的に造形表現活動を楽しむ。                                        | ・題材の提示の仕方を工夫し児童の興味関心を高める。                                                                                                                                                                     | ・児童観察と学習カード、作品から評価する。                                                                              |
|       | ・創造的な技能を働かせたり造形感覚を生かしたりする。                                       | ・個に応じた対応ができるよう素材や用具の準備を工夫したり、表し方のヒントやアイデアを提示したりして工夫を促す。                                                                                                                                       | ・児童観察と完成までの作品の変化を見取る。                                                                              |
| 家庭    | ・自分の生活を見直し、学んだことを生かしてよりよく生活しようとする態度。                             | ・家庭での実践を視野に入れた学習計画を立て、実践前には自身の家庭での問題点を見つける時間を設ける。<br>・家庭学習や振り返り、課題などを活用しながら、家庭での実践化をはかる。                                                                                                      | ・ワークシートや家庭での実践カードから評価する。                                                                           |
|       | ・自分らしさを表現できる作品の製作と意欲的で粘り強く取り組み力。<br>・製作・実習を通した協力や学び合い。           | ・自分らしさを意識させる授業の導入や見本・ワークシートを工夫し意欲を高める。<br>・役割や分担を確認させてから実習に取り組ませる。また取り組みの中で、教え合ったり友達作品・考えの良さを見つけ合ったりさせる。                                                                                      | ・児童観察、ワークシート、作品などから評価する。                                                                           |
| 体育    | ・体を動かすことの楽しさや喜びを味わう。                                             | ・単元の特性を感じ、楽しさを味わえるような教材や指導法を展開する。                                                                                                                                                             | ・授業中の行動観察・学習カードへの記入事項などを基に評価する。                                                                    |
|       | ・学習課題を見出して、友達と試行錯誤しながら解決する力。                                     | ・児童が自らの課題を発見できるように支援をし、友達と協力しながら進んで学習に取り組めるようにする。                                                                                                                                             | ・授業中の行動観察・学習カードへの記入事項などを基に評価する。                                                                    |
| 道徳    | ・道徳的価値について考える力。                                                  | ・教材をよく分析し、道徳的価値に気付き考えような発問を行う。                                                                                                                                                                | ・発問に対する発言や考えの交流の様子、ワークシートでのふり返りの内容を基に評価する。                                                         |
|       | ・道徳的価値の観点から自己を振り返り、見つめる力。                                        | ・自己を見つめ深く考えられるように、普段の生活について振り返りをする時間を確保する。                                                                                                                                                    |                                                                                                    |
| 総合    | ・価値ある課題をもち、見通しをもって調べたり、体験を基に追究したりする。                             | ・「つかむー調べるー整理・分析するーまとめる」の学び方の習得を意識させる。<br>・課題をどのように追究するかその方法について個々の支援の充実を図る。                                                                                                                   | ・テーマ設定の理由、学習計画表、ワークシート、活動の様子、プレゼン資料、発表原稿、発表内容より評価する。                                               |
| 外国語活動 | ・簡単な単語や基本的な表現の意味、文字の読み方が分かる。                                     | ・自分のことや身の回りの物を題材として取り入れる。                                                                                                                                                                     | ・活動の様子、ワークシート                                                                                      |
|       | ・簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えたり、質問に答えたりする。                                 | ・学校の友達や教師、ALTとのやり取りを、必然性のある場面設定で行う。<br>・実物やイラスト、写真などを見せながら話す機会を設ける。                                                                                                                           | ・活動の様子、発表                                                                                          |
| 特別活動  | ・自主的・実践的な活動を積み重ねることで、児童の自治的能力を高める。                               | ・話し合い活動を計画的に実施し、学級・学年活動、学校行事等を自分たちの力で、自主的・実践的に活動する力を育てる。                                                                                                                                      | ・話し合いの態度、実践的に活動する力で評価する。<br>・様々な活動での役割を積極的に引き受け、どのように行動しているか。                                      |
|       | 自らの生活や学習の目標を決め、その実現に向けて実践する力を高める。                                | ・学級目標や学期ごとのめあての振り返りなどを通して、「なりたい自分」に向けて、生活や学習の目標を決めて生活できるようにさせる。                                                                                                                               | ・毎月めあての振り返りで評価する。                                                                                  |